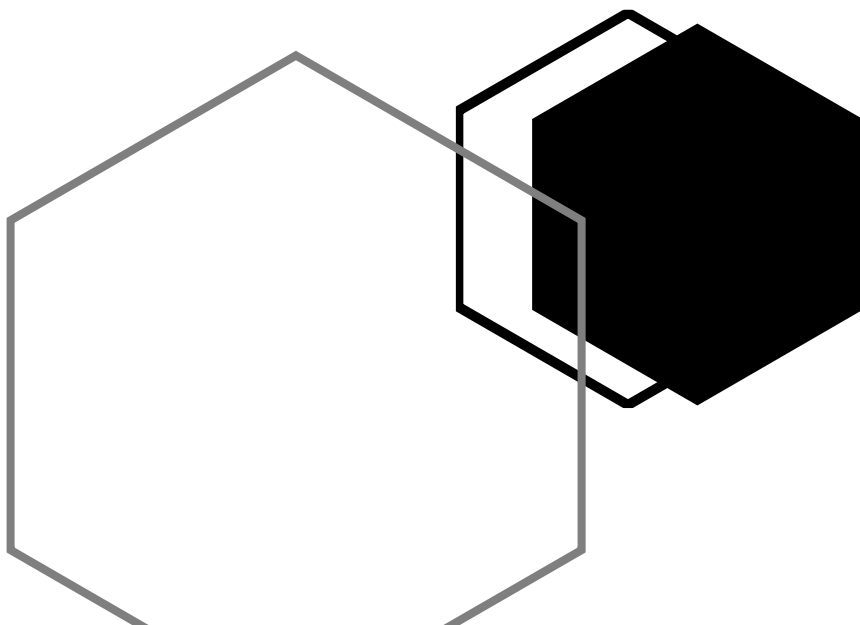


令和7年度 職人塾 報告書

職人塾実行委員会
一般財団法人玉野産業振興公社



はじめに

日本国内の景気は依然として不透明感が強く、資源価格の高止まりや円安基調の長期化により、物価や人件費の上昇が続いております。製造業全体が厳しい経営環境に置かれる中、とりわけ玉野地域の基幹産業である造船業では、若年層の製造業離れや人材確保の難しさが一層深刻化し、人手不足は今後も続くものと見込まれます。

こうした状況下において、市内の中小企業が事業を安定的に継続していくためには、地域に蓄積されてきた高度な技能・技術を確実に次世代へ継承し、限られた人員でも高い生産性を発揮できる体制を整えることが極めて重要です。そのための人材育成の場として、職人塾は環境の変化に対応しながらその意義を保ち続けております。

一方で、企業が求める研修テーマは多様化・個別化が進み、現場のニーズを的確に把握することが年々難しくなっているのも実情です。必要とされる技能や教育内容が短期間で変化することも多く、研修企画においては柔軟な対応が求められております。そうした課題はありますが、引き続き企業の声に丁寧に耳を傾け、ニーズを探りながら、地域産業に寄り添った研修事業を継続していきたいと考えております。

本年度、職人塾は活動開始から20年目という節目の年を迎えました。これまでの取り組みを支えてくださった皆様のお力添えにより、令和7年度の事業も無事に終えることができました。

今後も若手技術者・技能者を対象とした研修を継続し、“ものづくりのまち玉野”の技術力向上に寄与するとともに、若者をはじめとした市民のものづくりへの関心が高まり、本市への定住促進や離職率の低下、さらには地域産業の活性化へと繋がることを期待しております。

最後に、本年度の職人塾の取り組みに多大なるご支援・ご協力を賜りました関係者の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。

令和8年3月

職人塾実行委員会

委員長 鈴木 康裕

目次

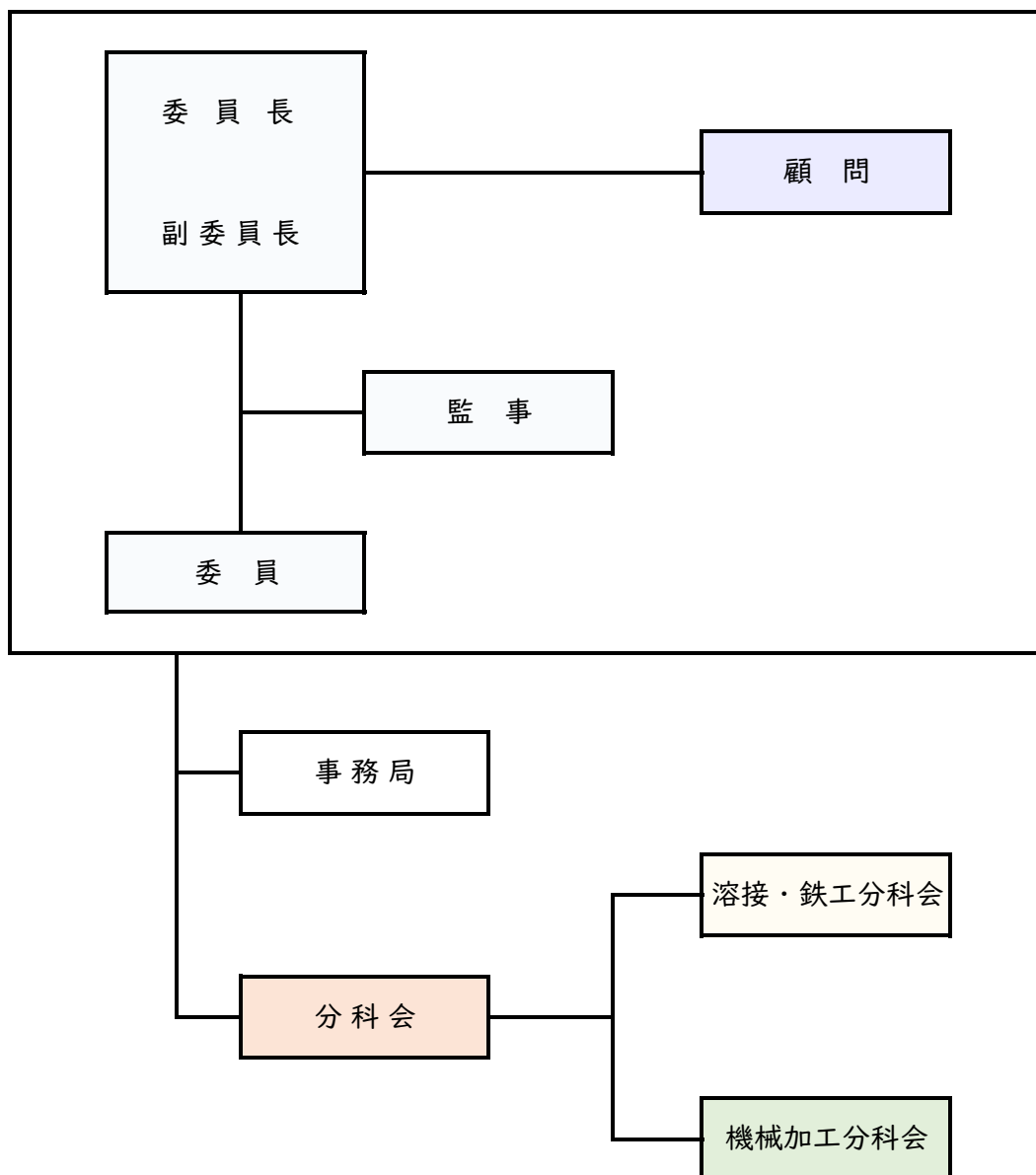
第1章 組織及び役員、分科会、講師	6
第1節 組織	6
第2節 職人塾実行委員会	7
第3節 各分科会 幹事	8
第4節 講師(順序不同)	8
第2章 事業の起源・目的・必要性	9
第1節 事業の起源	9
第2節 事業の目的	9
第3節 事業の必要性	9
第3章 全体活動実績	10
第1節 全体活動実績表	10
第2節 職人塾実行委員会総会の概要	11
第3節 各分科会の会議概要	12
(1) 溶接・鉄工分科会の議事概要	12
(2) 機械加工分科会の議事概要	12
第4章 広報活動について	13
第1節 ホームページでの広報	13
第2節 新聞・広報誌等での広報	13
第5章 実施研修について	16
第1節 実施計画	16
1-1 目的	16
1-2 研修の概要	16
1-3 受講生募集	16
1-4 講師の選定	16
1-5 その他	16
第2節 研修内容と状況	17
2-1 溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修	17
半自動溶接技能向上研修の募集案内	17
半自動溶接技能向上研修のプログラム	18
半自動溶接技能向上研修写真	20

第3節 受講生及び講師アンケート.....	22
3-1 溶接・鉄工分科会	23
1. 溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修【受講生】.....	23
2. 溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修【講師】.....	25

第1章 組織及び役員、分科会、講師

第1節 組織

職人塾実行委員会



第2節 職人塾実行委員会

役職名	氏名	在職団体
委員長	鈴木 康裕	三井・三菱玉野協力会 会長
副委員長	宮原 一也	玉野鉄工協議会 会長 ・ 玉野地区雇用開発協会 会長
副委員長	藤原 一師	玉原鉄工業協同組合 理事長
委員	渡邊 智幸	中国運輸局岡山運輸支局 海事技術専門官
委員	市倉 勇樹	一般財団法人玉野産業振興公社 理事長
委員	稲田 秀知	株式会社三井E&S 人事総務部 玉野総合事務所長
監事	大倉 明	玉野市産業振興部長
監事	中谷 勤	玉野商工会議所 専務理事
顧問	中川 陽介	中国運輸局岡山運輸支局 次長
事務局	小笠原 隆文	玉野市産業振興部商工観光課 課長
事務局	榊原 智生	玉野市産業振興部商工観光課 課長補佐
事務局	河内 美香	玉野市産業振興部商工観光課 主査
事務局	丸尾 千紘	玉野市産業振興部商工観光課 主査
事務局	山上 誠二	一般財団法人玉野産業振興公社 事務局長
事務局	柴田 圭一	一般財団法人玉野産業振興公社 事務局次長
事務局	岡崎 由紀	一般財団法人玉野産業振興公社 主事

第3節 各分科会 幹事

分野	分科会幹事会社	役職・氏名
溶接・鉄工	[代表] 三国工業株式会社 三井造船特機エンジニアリング株式会社	代表取締役社長 三宅 正兼 取締役 細谷 静男 代表取締役社長 林 利昌 総務部長 前原 守 総務部 総務課長 梶原 勇治 総務部 課長補佐 内田 光一 企画部 課長補佐 山田 壮志
	技術顧問 株式会社三井 E&S	人事総務部 玉野総合事務所 人事グループ 課長補佐 摸利 泰範
機械加工	[代表] 長尾鉄工株式会社 株式会社宮原製作所 株式会社大熊製作所 近藤工業株式会社	製造部長 末長 忠 技術参与 伊加 勝 代表取締役社長 大熊 力三 代表取締役社長 近藤 幸宏
	技術顧問 株式会社三井 E & S 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構岡山支部 岡山職業能力開発促進センター	船用推進システム事業部 玉野工場 加工部長 柿並 泰洋 訓練課長 竹中 良平

第4節 講師（順序不同）

分野	氏名
溶接・鉄工	木口 英之、長井 重幸、藤川 達哉、森田 秀彰、平林 涉、寺尾 和真、真柴 和史、西村 卓也、石村 圭祐、白川 翔大朗、若田 達明、合原 寛、池田 徹、大賀 康人、清板 祐哉、原田 佑也、安藤 嘉之、砥板 涼也、下村 修平、福原 隼、庄司 涼平、田原 達彦、大賀 勝彦、和田 亮一、村上 博之、柴田 繁、仕田原 克仁、松本 忠志、宮原 寛宝、坪下 直樹、前谷 一慶、岩本 大輔、田原 秀樹、細谷 静男、谷井 順志、梶谷 彰宏 (36名)
機械加工	なし (0名)

第2章 事業の起源・目的・必要性

第1節 事業の起源

玉野市は、これまで造船を中心とする機械工業のまちとして発展してまいりました。しかし、近年の少子高齢化、高学歴化、若者の製造業離れ、更には平成20年代後半に団塊世代が大量に定年退職を迎えるという転換期を迎え、製造業における後継者問題、衰退等が大いに懸念される状況になっていました。

平成18年度に市内製造業関係者の約2,000名にアンケート調査を実施したところ、50歳代、60歳代以上が約5割を占めており、平成28年までの10年以内に当市内でも現実問題としてその影響が課題として顕在化しました。

このことにより、これまで培ってきた技術が薄れていくことや製造業自体の衰退、まちの衰退に繋がるのではないのかとの懸念が設立のきっかけになりました。

この様な状況の中、平成18年度に内閣官房都市再生本部の都市の再生助成事業に応募し、全国都市再生モデル調査として「技術のまち玉野」再生・若者就労支援策キャリア形成職人塾設立に関する調査事業」として採択を受けたことが本事業の起源となっています。

第2節 事業の目的

中小型造船機械工業等における技術・技能水準の維持発展を図ることを目指し、新規に就業する若者等へ基礎的技術を学ばせると共に、中堅技術者が高度な技術を身につけるため、熟練技術者が保有する機械加工や溶接等の技術について体系化等を進めるなど、その習得基盤を整備することにより機械工業の振興に寄与するものであります。

第3節 事業の必要性

若者に対し、ものづくりの喜びやこれまで培われた技術や技能を伝承するとともに、中堅技術者に一層高度な技術習得を促し、また、市民等に改めて製造業に対する関心を高め、定住促進を図るものです。

このことは、中小型造船機械工業等における技術及び技能を伝承していく基盤を整備し、その確立を図るとともに製造業に従事している若者や市民に対し地域の機械工業に対する理解を広めることの重要な意義を有しており、きめ細やかな地域の中小企業の支援となります。

第3章 全体活動実績

第1節 全体活動実績表

令和7年度職人塾 全体活動実績表

実施名称	令和7年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
実行委員会													
実行委員会総会		実行委員会総会(書面決議)											
専門分科会の開催 ☆溶接 ★機械			☆										☆☆
各分科会予算関係					執行								
研修関係													
講師の委嘱						溶接・鉄工							
テキストの作成						溶接・鉄工							
受講生募集					製造現場におけるヒューマンエラー対策研修 4/25～6/16	半自動溶接技能向上研修 7/11～9/5							
研修の実施													
溶接・鉄工：半自動溶接技能向上研修									9/27～11/29(毎週土曜日・4時間×8回)				★12/5 JIS資格試験
機械加工：製造現場におけるヒューマンエラー対策研修						7/1～9/7(4時間×3日 産業振興ビル)							
ホームページの作成・広報													
次年度事業計画の作成													次年度事業・予算検討
実施成果のとりまとめ													

職人塾実行委員会事務局

第 2 節 職人塾実行委員会総会の概要

令和 7 年 5 月 12 日（月）令和 7 年度 職人塾実行委員会 総会

※ 書面表決として開催しました。

議 事

議案第 1 号	委員長の選任	賛成 10 , 反対 0
議案第 2 号	令和 6 年度職人塾事業報告	賛成 10 , 反対 0
議案第 3 号	令和 6 年度職人塾収支決算	賛成 10 , 反対 0
議案第 4 号	令和 7 年度職人塾事業計画	賛成 10 , 反対 0
議案第 5 号	令和 7 年度職人塾収支予算	賛成 10 , 反対 0
議案第 6 号	令和 7 年度職人塾溶接・鉄工分科会事業計画	賛成 10 , 反対 0
議案第 7 号	令和 7 年度職人塾機械加工分科会事業計画	賛成 10 , 反対 0

結 果

すべての議案について、全会一致で承認されました。

第3節 各分科会の会議概要

分科会毎に適時会議を開催し、本塾の運営を円滑に実施推進するため、各課題について協議しました。

(1) 溶接・鉄工分科会の議事概要

No.	日時	場所	内容
1	令和7年6月30日	三井 E&S 技能研修センター 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度の実施研修 予算 プログラム 講師選出及び登録 講師謝金の支払方法 受講生募集及び対象者 使用材料及び消耗品 JIS 試験申込みの対応 ・ その他
2	令和8年1月26日	三井 E&S 技能研修センター 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度の事業評価、決算等 ・ 令和8年度の活動についての検討 代表幹事の選任 半自動溶接技能向上研修開催日程 予算 半自動溶接技能向上研修の内容 ・ その他

(2) 機械加工分科会の議事概要

No.	日時	場所	内容
1	令和8年1月20日	産業振興ビル グループ研究室③	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和8年度の活動についての検討 代表幹事の選任 実施研修の内容 実施研修開催日程 予算 ・ その他

第4章 広報活動について

第1節 ホームページでの広報

「職人塾」の実施にあたり、本塾の実施計画、実施時期、科目、募集要項等を適時ホームページに掲載し広く公開することによって、ものづくりに対する興味の喚起と研修への参加を促しました。

<http://www.zai-tama7.or.jp/>

募集要項の掲載 令和7年5月 及び 随時更新

第2節 新聞・広報誌等での広報

市民に対し、当塾の活動内容の広報や募集要項を発信することにより、参加意識の高揚と興味の喚起を図りました。

令和7年10月2日

山陽新聞



とあいさつした。
式後は造船関連企業のベテラン作業員を講師に、安全講習や溶接の基本知識を学んだ。
三国工業(同市玉原)のパイプ工場に勤める多和昌彦さん(38)は「基礎からしっかり学び直し、仕事への理解や応用力を身につけた」と話していた。
(宗宮正行)

令和7年7月号
広報たまの

職人塾 ものづくり技術・技能
教育研修受講生募集

半自動溶接技能向上研修

日 9月27日～11月29日の毎週
土曜日(全8回) 8時～12時

※10月11日、11月8日は休講

場 三井E&S技能研修センター
(玉3-1-1)

内 溶接作業者としての基礎、JIS
資格試験レベルの技術・技能
の習得(SA-2Fなど)

対 市内在住・在勤の中小企業従
業員・求職者

定 先着15人程度

※最少実施人数6人

料 中小企業従業員1万円、
求職者5千円

受付 7月11日(金)～
9月5日(金)

申 申込フォーム



申込フォーム

申 問 (一財)玉野産業振興公社
☎ 33-5000

第5章 実施研修について

第1節 実施計画

1-1 目的

企業従事者、一般市民、求職者等を対象に機械器具製造業についての技術・技能水準の維持発展を目指し座学・実習の研修を行うことにより、機械工業の振興並びに地域市民のものづくりへの関心の喚起を促すものであります。

1-2 研修の概要

各研修コース概要一覧

分科会	研修名	受講生数	研修概要	時間	期間	場所	参加者
溶接 ・ 鉄工	半自動溶接 技能向上研修	9名	溶接技術・技能の 座学及び実習 ・CO ₂ 半自動溶接の JIS 資格受験対策 他	31時間 ※座学 8時間 ※実技 23時間	9/27~11/29 延べ8回 毎週土曜日	三井 E&S 技能研修センター	在職者

1-3 受講生募集

玉野産業振興公社のホームページ、玉野市広報、玉野公共職業安定所、関係団体、各企業へ募集活動を行い、企業の従業員並びに求職者を対象とした研修を実施しました。

1-4 講師の選定

これまでの講師実績を基にご協力いただいた企業の社員の方々から選定しました。

1-5 その他

■ 半自動溶接技能向上研修

- ・求職者も受講対象としましたが、令和7年度の申込みはありませんでした。
- ・座学講師を一新しました。
- ・受講生1名は、出席日数不足により、修了証書授与を見送りました。
- ・閉講後の12月5日に受講生全員がJIS溶接技能者評価試験の基本級を受験し、7名が合格しました。(学科合格;7名、実技合格;8名)

■ 機械加工分科会主催研修の中止

昨今の受講参加状況を鑑み、令和7年度は、現場のリーダー及び中堅向け研修として「製造現場におけるヒューマンエラー対策研修」を企画・募集しましたが、申し込みが最小実施人数に達しなかったため、中止としました。

第2節 研修内容と状況

2-1 溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修

半自動溶接技能向上研修の募集案内



**ものづくり分野の
技術・技能研修**

**職人塾 半自動溶接技能
向上研修
募集案内**

- ▶ **研修名** 令和7年度 職人塾 半自動溶接技能向上研修
- ▶ **期間** 令和7年9月27日から令和7年11月29日までの**土曜日午前中(延べ8回)**
9/27・10/4・10/18・10/25・11/1・11/15・11/22・11/29 ※10/11と11/8は休講
- ▶ **場所** 三井E&S技能研修センター（岡山県玉野市玉3丁目1番1号）
- ▶ **対象者** 玉野市内に勤務または在住している中小企業従業員及び求職者
- ▶ **定員** **15名程度** ※最少実施人数：6名
- ▶ **受講料** 在職者 **1万円** / 求職者 **5千円**
※JIS試験費用は別途となります。
- ▶ **研修内容** 溶接作業者としての基礎、JIS資格試験レベルの知識・技能修得(SA-2F等)
※過去5年間の受講生のJIS半自動溶接試験合格率 平均93.7%
- ▶ **申込方法** 下記QRコードまたは <https://forms.gle/Sh9Ab9VkuYX8PQU9> からお申込みください。
- ▶ **申込期限** 令和7年9月5日(金) **17:00**まで ※定員にのり次第
- ▶ **その他** JIS試験の申込みは各自で対応ください。

代表幹事 職人塾溶接・鉄工分科会
三国工業株式会社

申込先 職人塾実行委員会事務局
一般財団法人玉野産業振興公社（担当：柴田）
岡山県玉野市高池1丁目1番3号
<http://www.zai-tama7.or.jp>

☎ 0863-33-5000 ✉ san-bill@zai-tama7.or.jp



職人塾 半自動溶接技能向上研修 プログラム

第1回	9/27	<ul style="list-style-type: none"> ● 開講式 ● 講義 安全教育 ● 一般学科① ● 一般学科②
第2回	10/4	<ul style="list-style-type: none"> ● 講義 一般学科③ ● 実技 半自動溶接（CO2溶接）
第3回	10/18	<ul style="list-style-type: none"> ● 講義 一般学科④ ● 実技 半自動JIS評価試験を想定した練習
第4回	10/25	<ul style="list-style-type: none"> ● 講義 一般学科⑤ ● 実技 半自動JIS評価試験を想定した練習
第5回	11/1	<ul style="list-style-type: none"> ● 講義 JIS試験学科対策 ● 実技 半自動JIS評価試験を想定した練習
第6回	11/15	<ul style="list-style-type: none"> ● 実技 半自動JIS評価試験を想定した練習
第7回	11/22	<ul style="list-style-type: none"> ● 講義 JIS試験学科対策 ● 実技 半自動JIS評価試験を想定した練習
第8回	11/29	<ul style="list-style-type: none"> ● 実技 半自動JIS評価試験練習 ● 閉講式

研修会場：三井E&S技能研修センター

JIS試験 **12/5** (7時)

JIS半自動溶接技能者評価試験（※希望者のみ各自申込み）

参考費用 SA-2F【基本級】※(一社)日本溶接協会の非会員の場合
 学科 1,100円 + 実技 7,900円 + 認定審査料 2,860円 + 事務手数料等 4,400円
 = 合計16,350円

詳しくは、一般社団法人岡山県溶接協会のホームページを参照ください。
URL <https://www.optic.or.jp/lwes-okayama/>

試験会場：三井E&S技能研修センター

半自動溶接技能向上研修のプログラム

No.	実施日	研修時間	研修内容
第1回	9月27日(土)	開講式 8:00 ~	
		座学 8:40 ~ 9:40	安全教育 ・三井 E&S 玉野事業所 構内に於ける規則及び一般安全、 注意事項教育 ・半自動溶接技能向上研修の内容及び溶接作業向け安全教育
		座学 9:45 ~ 10:45	一般学科①
		座学 10:50 ~ 11:50	一般学科②
第2回	10月4日(土)	座学 8:00 ~ 9:00	一般学科③
		実技 9:05 ~ 12:00	半自動溶接 ・CO ₂ 溶接下向き隅肉多層盛りを実習 材料：T9 × 200 × 200、FB-T9×50×200 ・テストピース仮付指導
第3回	10月18日(土)	座学 8:00 ~ 9:00	一般学科④
		実技 9:05 ~ 12:00	半自動 JIS 評価試験練習 ・JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-2F) 材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220
第4回	10月25日(土)	座学 8:00 ~ 9:00	一般学科⑤
		実技 9:05 ~ 12:00	半自動 JIS 評価試験練習 ・JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-2F) 材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ・JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-2V) 材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ※受講生の習得度合いにより、講師判断で SA-2V を実施
第5回	11月1日(土)	座学 8:00 ~ 9:00	JIS 試験学科試験対策
		実技 9:05 ~ 12:00	半自動 JIS 評価試験練習 ・JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-2F) 材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ・JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-2V) 材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ※受講生の習得度合いにより、講師判断で SA-2V を実施

No.	実施日	研修時間	研修内容
第6回	11月15日(土)	実技 8:00 ~ 12:00	半自動 JIS 評価試験練習 ・ JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-2F) 材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ・ JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-2V) 材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ・ JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-3F) 材料：T19 × 200 × 200、T6×25×220 ※受講生の習得度合いにより、講師判断で SA-2V/3F を実施
第7回	11月22日(土)	座学 8:00 ~ 9:00	JIS 試験学科試験対策
		実技 9:05 ~ 12:00	半自動 JIS 評価試験練習 ・ JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-2F) 材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ・ JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-2V) 材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ・ JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-3F) 材料：T19 × 200 × 200、T6×25×220 ※受講生の習得度合いにより、講師判断で SA-2V/3F を実施
第8回	11月29日(土) 試験本番 の練習	実技 8:00 ~ 11:00	半自動 JIS 評価試験練習 ・ JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-2F) 材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 実技終了1時間前から T9 × 125 × 200 を使用
		閉講式 11:15~	

半自動溶接技能向上研修写真





第 3 節 受講生及び講師アンケート

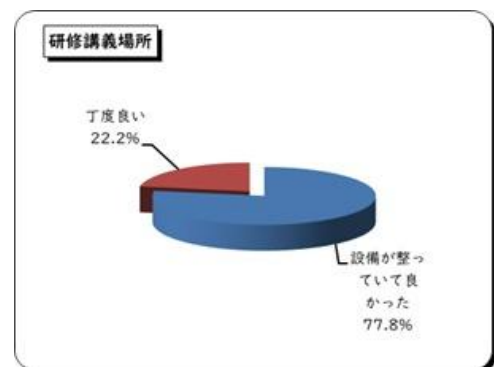
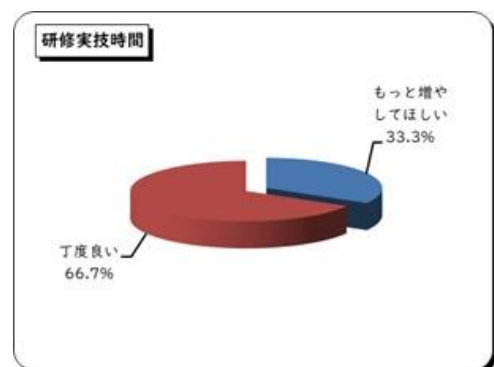
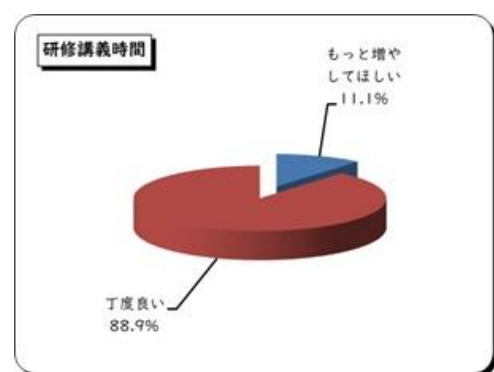
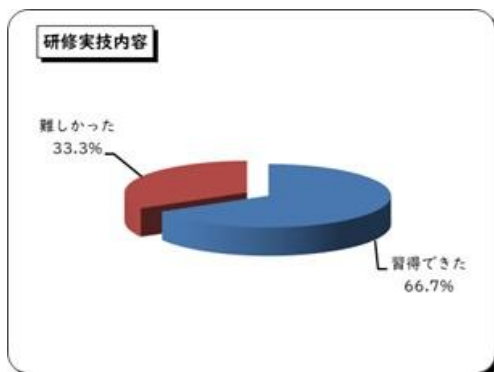
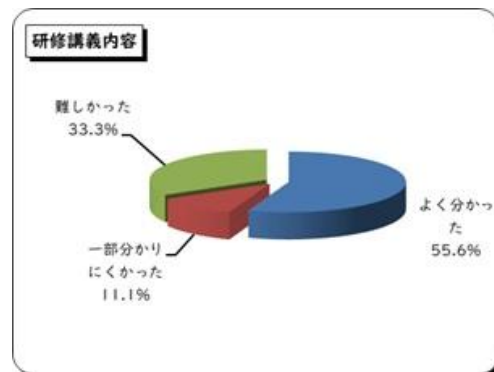
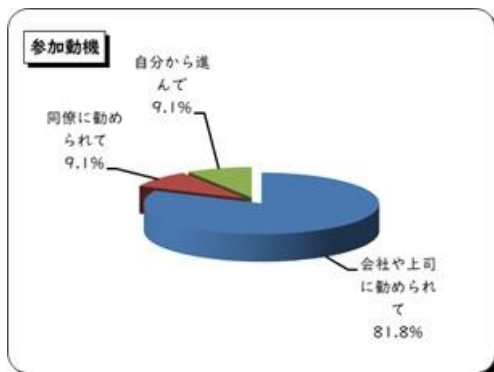
3-1 溶接・鉄工分科会

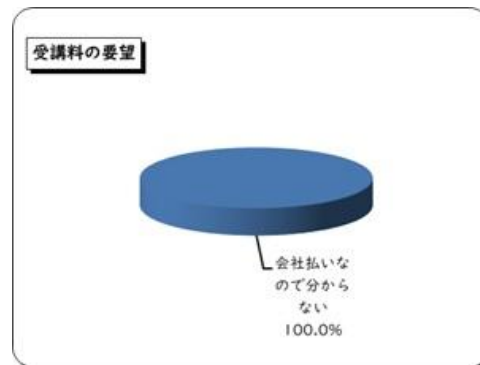
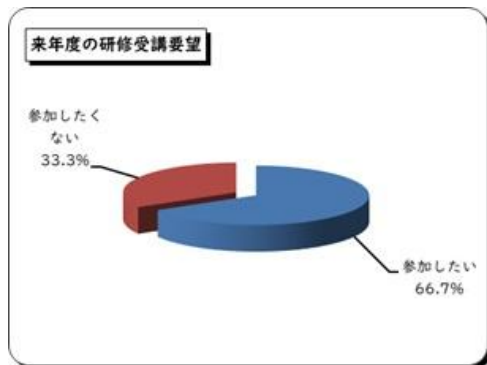
1. 溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修【受講生】
2. 溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修【講師】

3-1 溶接・鉄工分科会

1. 溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修【受講生】

本項は、令和7年9月27日から令和7年11月29日まで（延べ8日間）に実施した「溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修」の受講生9名からのアンケート回答についてまとめたものです。





研修の希望等

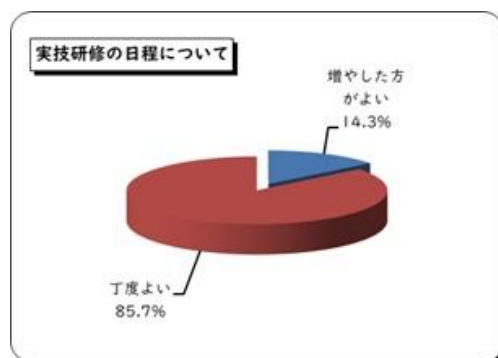
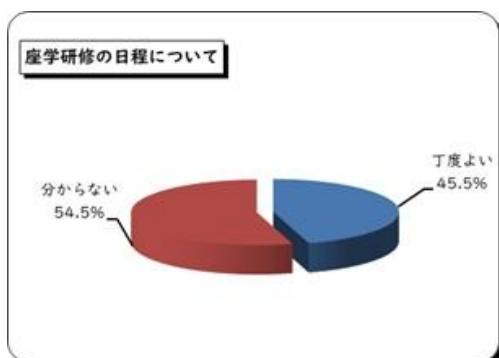
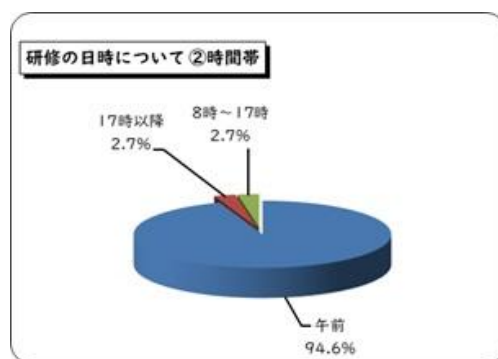
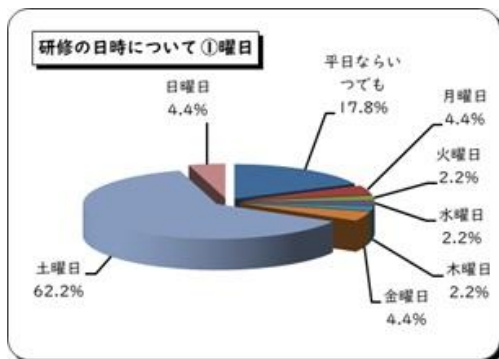
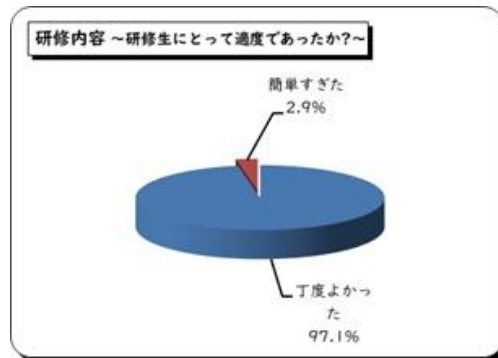
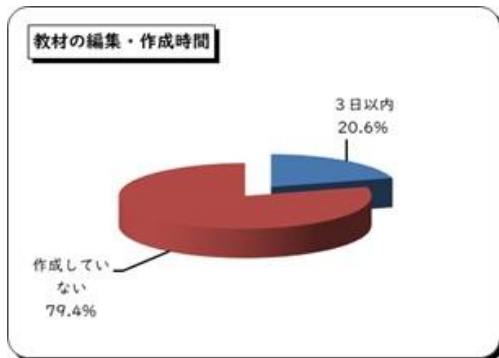
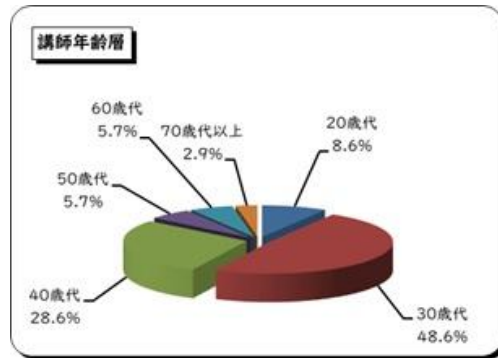
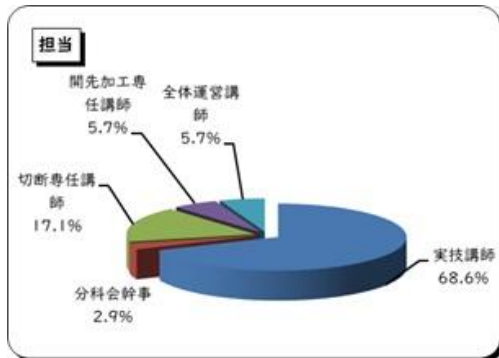
- ちょうどよかったのでありません
- 何を答えればいいかわかりません。すいません。
- あまり寒い時期にはやりたくないです
- 研修内容の確認をしてから考えます

研修の感想

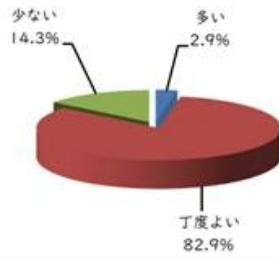
- 研修センターっていうよく知ってる場所だったから変に緊張しなくて済んだ
- 講師陣の教え方が上手く最初の頃に比べて見違えるくらい上手くなったと自分でもわかります。座学なども実体験の話もあり貴重な講義の時間だと思いました。
- 木口さんが優しく教えてくれて上達しました。あの人はすごい人だなと思いました。
- 講師の方々がとても親身になって教えてくださり、溶接についてより良く理解することができました。
- 講師の方々が親身になって教えてくれたのでとても良かったです
- 良かった事は、講師の方が出来の悪い自分に親切丁寧に指導して頂きました。改善要望は特にありません。今後の抱負は、試験に合格しないと意味がなくなるので無事に合格し今後の仕事に生かしていきます。講師の方には出来ない自分に丁寧にご指導して頂き本当にありがとうございました。
- 講師の方の教え方が細かくてわかりやすかった
- 講師の方々のそれぞれのやり方、コツなどいろいろな視点で学べて良かったです。
- たのしかった

2. 溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修【講師】

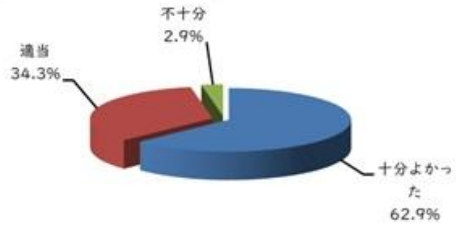
本項は、令和7年9月27日から令和7年11月29日まで（延べ8日間）に実施した「溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修」の講師36名中35名からのアンケート回答についてまとめたものです。



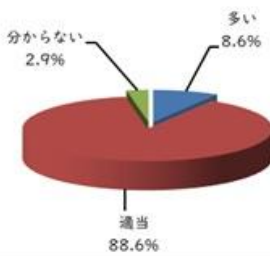
研修回数（延べ8回）について



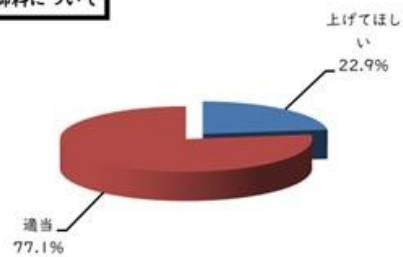
研修の場所や設備について



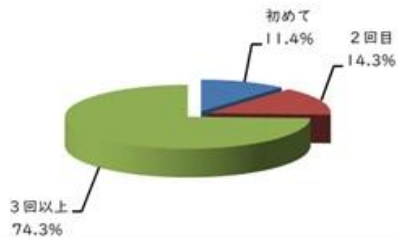
講師の配置について



講師料について



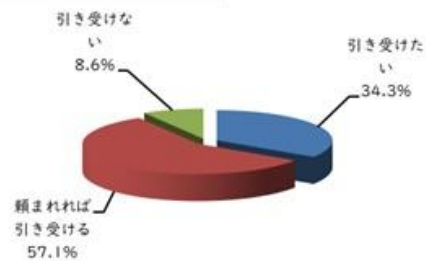
講師としての経験について



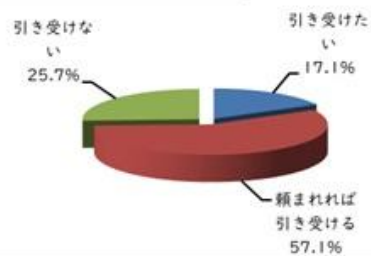
研修の満足度について



次回研修の講師依頼について



定年退職後の研修の講師の依頼について



研修目標、新しい課題の導入、改善要望について

- 専門級受講者が少ないので、技量が見込める受講者は狙ってほしいです。ただ、講師側の受講者に対して判断する時間が少し短いです。
- 3F を受ける生徒がもっといてもいいなと思います
- 受講者全員の合格
- 溶接実技を増やす
- この職人塾がきっかけで日頃の作業に生かされれば嬉しいです。
- JIS 試験に合格
- 現行通りで良い
- もう少し難易度を上げてほしいかもしれないです。
- 実技の時間、回数を考えると妥当と思う。生徒さんのやる気によっては高い設定をしてもよい。
- 試験の合格
- 溶接
- 図面も見れるようになってほしい
- 今のままで大丈夫です
- 全員合格
- 専門級
- 講師用の座学
- Tig 溶接もやってもいいと思います
- マーキング
- 希望者がいればディグ溶接。
- ワンランク上を目指す生徒を募集してみてもよい
- ティグ溶接
- 溶接以外の項目(ガスや墨壺等)
- 既存の設備だと MAG 溶接や手棒を取り入れてもよい。
- 時間を増やす
- ティグ溶接
- 図面を用いた製品の作成
- ガウジングの使い方について
- 1時間あたりの希望講師料(謝金)
 - 3,000 円/時 以下 : 5 名
 - 3,001~4,000 円/時 : 8 名
 - 4,001~5,000 円/時 : 1 名
 - 現状のままで良い : 5 名

【参考】現行の講師料(謝金) ※源泉所得税(10.21%)を差し引いて支給
座学講師 3,889 円/時
実技講師、切断講師、開先加工講師、運営講師 3,342 円/時

研修の感想等

- よかった
- 受講生側も選別して受講した方が良いような気がしました。
- よく休む生徒がいた。同僚に来るようにお願いしたが、休みがちが最後まで直らず残念だった。
- 残念ながら全員揃うことが少なく講師の人数の方が多い状況もあり勿体ないとは感じた。
- 良かった
- とても有意義な研修でした
- 実技時間が少なかった。
- 生徒全員、怪我無く終えて真面目に取り組んでくれて良かったです。
- 生徒が少なかったと思う
- 概ね満足
- 特に問題もなくスムーズに作業ができていたと思うので良かったと思う。
- 生徒の人数が少ないようだったが、その分一人一人への対応が手厚かったように思う。
- 開先加工する鉄板に溶接のスパッタが多かった
- 生徒の人数と講師の数があって無い気がした。
- マンツーマン式で良かったです
- 生徒によって研修の幅を持たせても面白いと思います。
- 生徒が素直でやりやすかった
- 生徒1名は出席日数が足りず、修了証を受け取れないのが残念でした。
- 自分にとっても勉強になりました。
- 今回、JIS 試験にてソリッドワイヤを用いた生徒もいた。申請時に注意するか、もしくは希望する生徒さんによって柔軟に対応できるようにしたい。
- 貴重な経験ができたと思う
- 初心に戻って学ぶことができた
- 生徒が優秀で充実していた
- 教える側も良い勉強になりました。
- 回数は少なかったのですが、生徒の技量アップに携われて良かったです。
- 今回も自分の知識経験を少しでも教えた。上達してくれて嬉しかったです。
- 最高の研修でした。
- 人によって習得度が違うため、時間が欲しい人に限り毎回1時間の延長ができるような仕組みにして欲しい
- とても良いと感じました。

令和 7 年度職人塾 報告書

発行日 令和 8 年 3 月
発行所 一般財団法人 玉野産業振興公社
〒706-0002
玉野市築港 1 丁目 1 番 3 号
電話 (0863)33-5000
e-mail san-bill@zai-tama7.or.jp
URL <http://www.zai-tama7.or.jp/>

